

II. X線講習受講案内

II-1. 開催日程

会場が変更となりました (2017/6/22)

課程 (日本語・英語)	場 所	日 程	定 員	受付期間 (必着)
X線124	(日) (東山地区)坂田・平田ホール(理学部南館)	5月15日(月)	150名	4月10日(月) ～4月24日(月)
X線125	(日) (東山地区)坂田・平田ホール(理学部南館)	5月16日(火)	150名	
	(英) (東山地区)アイソトープ総合センター	5月16日(火)	20名	
X線126	(日・英) 日 (東山地区)坂田・平田ホール(理学部南館) 英 (東山地区)アイソトープ総合センター	7月6日(木)	日:30名 英:5名	6月9日(金) ～6月23日(金)
X線127	(日・英) (東山地区)アイソトープ総合センター	10月17日(火)	日:30名 英:5名	9月22日(金) ～10月6日(金)
X線128	(日) (鶴舞地区)アイソトープ総合センター分館	11月6日(月)	20名	10月10日(火) ～10月26日(木)
X線129	(日・英) (東山地区)アイソトープ総合センター	1月11日(木)	日:30名 英:5名	12月11日(月) ～12月25日(月)

対 象：学部学生，大学院生，職員

(注) 放射光を使ったX線分析(XAFS等)は，RI講習を受講してください。

時 間：受 付 13:00～13:20 講習時間 13:30～16:30

講義内容：X線装置の取扱(1時間)・関連法令(1時間)・人体影響(30分)

遅刻・早退者等は規定時間を満たさないため，いかなる理由があっても資格認定不可となります。

II-2. 講義「人体影響」の省略について

第2種資格保有者で，本講習を受講する者は「人体影響」の講義(30分)を省略することができます。省略希望者は，申込書の該当欄にチェックし，必要書類を添えてお申し込みください。

II-3. 「X線実習」について

名古屋大学では，X線業務従事者になるために，以下の2つの教育訓練を受ける必要があります。

1. アイソトープ総合センターが実施する講習会(X線講習：講義2時間30分)
2. 各装置で実施する実習(以下の内容を含み2時間以上)
 - ・ 装置の構造(各部の名称と役割の確認)
 - ・ 装置の取扱(装置の始動，インターロックの確認，停止，緊急停止等)
 - ・ サーバイメータの正しい取扱と漏えい線量の測定
 - ・ 運転記録の記入
 - ・ 緊急時の措置，緊急連絡先等の確認

《X線業務従事者になるまでの手続き》

- ① アイソトープ総合センター主催「X線講習(講義)」を受講する。
- ② 受講後，「修了証書」が発行される。
(発行：アイソトープ総合センターから受講者の所属部局事務へ送付します。：約2週間)
- ③ 「特殊健康診断」を受診する。(受診方法は，RI-3「I-5.」に準じる。□エックス線装置の取扱いにチェックする。)
- ④ 所属部局の放射線安全管理室等に「個人被ばく線量計」を申請する。
- ⑤ 「個人被ばく線量計」発行後，「X線実習」を受講する。
詳細は，取扱予定のX線装置を担当する「X線作業主任者」又は「X線装置管理者」に問い合わせてください。

《学外の研究機関においてのみX線業務に従事する場合》

名古屋大学所有の装置を利用して「X線実習」を受ける。又は，従事する研究機関において取扱に関する十分な実習を受ける。